

# 泉の自治だより

題字 大野 達夫

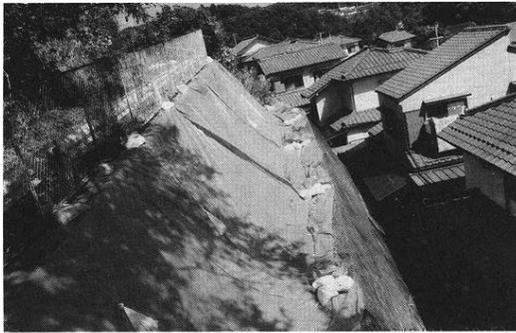
No. 100

発行所 泉町連合区  
 発行責任者 連合区会長 大野 達夫  
 事務局 (泉公民館内)  
 土岐市泉中寮町 TEL 55-3653  
 編集部長 小林 章二



「サンカキ友誼会」  
 澤田 弘司

## 泉町連合会長より泉町のみなさまへ



最近の出来事等につきまして町民の皆様へお見舞いとお報告及びご依頼を申し上げます。

①台風15号被害  
 九月二十日、台風十五号に伴った豪雨により泉町も被害を受けました。

特に久尻地区及び大富地区では各所で浸水、崖崩れ等に見舞われまして、大富地区の一部には避難指示が出される事態となり、泉小学校体育館へ数日避難された方が十数軒ありました。後日各区各町内より改善の要望が市へ出されましたが、被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

②表彰を受けました  
 土岐市駅周辺パトロールを毎年実施しておりますが、八年目の今年も十四団体約二五〇名で五月から週三回皆さんの協力を得て活動しております。この活動の永年の功績が認められまして、去る九月三十日、東京明治記念館での全国地域安全運動中央大会に於て

### 泉町のみなさまへ

泉町連合区会長 大野 達夫

「功労ボランティア」全国三十団体の一つとして(財)全国防犯協会連合区会長表彰の栄に浴しました。これは過去七年間の関係された皆様全員への榮譽でありますので皆さんと共に喜びたいと思っております。共に泉町の安全安心の為になお一層のご協力をお願い致します。



③新公民館について  
 九月十五日号で「本年六月要望書を提出しました」とご報告しました。その後、市当局から数点に関する質問がありました。建設委員会でも種々協議を重ねました結果、市からの質問に対する回答及び新公民館に懸ける泉町民の思いを纏めまして、先月市教育委員会へ提出しました。今後の進展を願っておりますが、町民の皆様からのご意見ご提案を承りたいと思っておりますので左記までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

泉公民館内  
 泉公民館建設委員会  
 ☎5513653

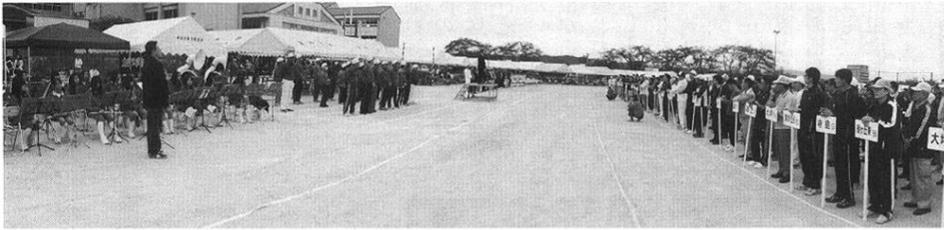
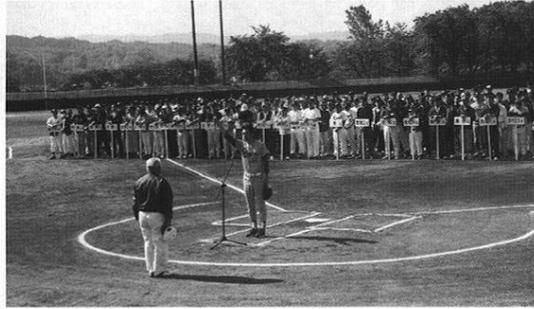
## 泉町連合区の平成23年度要望事項に対する市からの回答

泉町連合区会が提出した今年度要望事項に対する市当局からの回答があった。毎年継続して要望している項目がほとんどで、市当局からも同じ回答が繰り返されているのみであるが、来年度以降も粘り強く要望し続けていくと連合区会は云っている。

要 望	市担当課	市からの回答 要 旨
1 泉児童センターの建設促進 (継続要望)	児 童 課	泉児童センターの建設については具体的な計画に至っていないが、いずれ新築や移転の必要があると認識している。 今後、土岐市公立保育園等再編計画に基づいて、泉地区ではいずみ保育園とみつば保育園を統合した新たな保育園建設を計画。 両保育園の利用については児童センターとして利用可能性も検討に加えていきたい。
2 国道19号線・池の上より新丸石橋間の道路建設 (継続要望)	土 木 課	地権者の同意等の問題があるため検討課題とする。
3 都市計画道路 (大富・高山線)の改良 (継続要望)	都市計画課	現在は土岐津線拡張事業による整備を優先、順次継続して検討していく。
4 土岐・可児線、19号交差点から天王跡間の道路改良事業の促進 (継続要望)	管理用地課	県からの委託を受け、市で鋭意用地買収を進め残り3筆、引き続き地元の協力をお願いしたい、県からも引き続き事業を促進すると回答あり、一部工事を施工中。
5 土岐市駅北広場の拡張及び大型バス発着場の設置 (継続要望)	都市計画課	現在は土岐津線拡張事業を優先、駅北地区の有効利用は重要な施策と認識しているので順次継続して検討していくので理解して頂きたい。
6 県道土岐一可児線の中央自動車道高架橋より南側に歩道の設置 (新規要望)	土 木 課 総 務 課	昨年も久尻区と同じ要望を受けて次のように回答している。 県へ要望したところ、通学路に指定されていないため、優先順位が低く当面困難との回答があった。
7 水晶台団地道路の市道化 (新規要望)	管理用地課	市道認定には従来から回答してしているように、要件等が必要、地元自治会で道路整備等をしていただく必要あり。 要件等 1. 団地内土地が私有地であるため所有者から寄付をうける必要あり 2. 道路部分の分筆及び境界杭の設置が必要 3. 現状の道路側溝を市の基準に合うものに入れ替える必要あり 4. 部分的にガードレールの設置が必要 5. アスファルト舗装の手直しが必要 6. その他市と協議して調整された事項
8 緑ヶ丘東の市道への移管 (新規要望)	管理用地課	上記7項と同様。
9 定林寺川の早期土砂浚渫及び護岸整備 (継続要望)	管理用地課	土砂浚渫は昨年度県により19号より下流部で実施、今年度は困難。 護岸整備は緊急性は少ないと思われる今のところ予定なし。
10 乙塚古墳の雨漏り防止と段尻巻古墳の土地取得 (継続要望)	文化振興課	現在教育委員会とは今後の整備に向けた計画策定を進める一方で、古墳周辺の土地について優先取得できるよう協議を開始したところ。 古墳崩壊の危険性については平成14年度から石室移動監視をし、現在のところ異常の報告はなし、引き続き監視を行う。 整備に着手するまで平成14年度より実施している石室の移動の監視を続ける。
11 土岐市駅東の駐輪場に防犯カメラ設置 (継続要望)	環 境 課	駅前駐輪場に今年度防犯カメラを設置する方向で検討中です。

# 町民野球、運動会を通じて

泉町体育協会会長 杉野 節夫



町民野球や運動会など体育協会の活動に對しまして、泉町の皆様には多大なるご協力を頂き本当にありがとうございます。体協として町民野球、運動会を振り返ってみますと、近年一部の町内会の人が集まらない、子どもがいない、人集めが大変ということでの出場辞退や競技を棄権されることが

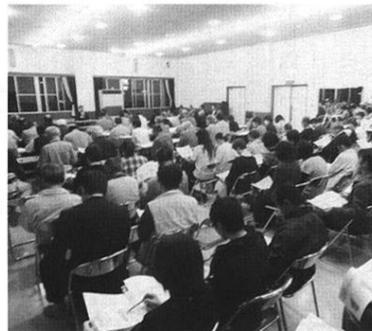
あり、中には運動会などやめた方がいいと言う方もあります。しかしながら、大震災や集中豪雨などの災害では、救助活動や避難支援などにおいて地域の絆の大切さが改めて認識されており、運動会や野球大会は、泉町民が一堂に集まることのできる大会です。お互いに助け合い声掛けで絆

を結ぶ町内会でありたいと思えます。今年は運動会に北山町内会が新たに参加していただきました。人数の少ない町内はお隣と合同出場しても結構です。体協でも出やすい種目、競技など工夫します取り組んでまいりますので、今後ともご協力をお願いします。

# 市長と語る会 泉町で開催

11月2日に泉町での「市長と語る会」が泉公民館で開催された。

「市長と語る会」は土岐津町から始まって7町が終わり、泉町が最後だったが、約120名の参加者は今までの最高人数で活発な意見質問が熱くぼく交わされた。



人口、世帯数推移、産業構造、主要施策など土岐市の現状説明があった後、事前質問の回答、そして参加者の自由意見質問があり、すべての回答が市長自身からあった。意見、質問、及び回答の議事録は土岐市ホームページで閲覧できる。

# 泉公民館 まつり開催

11月20日に泉町公民館まつりが開催された。

泉、及び泉西両公民館を会場として、チャリティーエコ広場でのリサイクル品販売、中高生のたこやき、ワッフル、うどんなどの模擬店、日頃公民館で活動するグループの演技、コーラスなどのステージ発表、作品展示などに大勢の人が集まり盛況であった。



# 東北復興祭

10月29日セラトピア正門広場で東北復興祭「土岐さんまつり」が東北物産展と合わせて開催、土岐市長、宮城県登部市長夫

# 土岐さんまつり開催

人の挨拶で始まった。東北復興をほげまし続けようと、駅前復興組合、中央商店街復興組合などの団体が実行委員となつて開催したもので、二〇〇〇匹の炭焼きさんまがふるまわれ大勢の人が集まった。



# 身近な珍風景 さんなん、ありがとうございました...

ナニコレ珍百景なんて番組がありますが、土岐市の周辺でも「ナニコレ！」ってのがありますよ。さて、今回取り上げますのは...



# 身近な珍百景募集

皆様も身近なところで珍しい風景がありましたら投稿してください。読者に紹介します。

場所など若干のコメントを付けて、写真はメモリーかCDにコピーしたものがベターです。(プリントでも可)

連絡先 泉町連合区事務局 (泉公民館内) TEL 55-3653 FAX 55-3653

二段に曲げたポール?こんなに苦労しなくても...

# 泉の自治だより

題字 大野 達夫

## 特集ページ

# 特集

# 100号発刊を迎えました



「泉の自治だより」です。役目柄市の会合に出席した折り、他町の方に、泉町は100号ですが皆さんの町はどうですかとお訊きしましたが何とかお訊きしている町が数町で、



泉町が他町に誇るべき事の一つが

## 100号を目指して

泉町連合区会長 大野 達夫

泉の自治だよりは昭和62年8月に創刊されて以来25年間、年4回の発行が続けられ、今回100号の発刊に至りました。創刊時の紙面を読み返すと、まだ情報公開ルールのない当時、泉町民の適格な情報源としての重要な役割を担って創刊された「泉の自治だより」の発刊に当たっては当時の泉町連合会長、役員、編集委員の方々の熱意と努力があつて実現したこと

がうかがい知れます。

平成15年に泉町各区から編集委員を選出する方法に変わって発行が継続されていますが、100号発行の節目に当たって、創刊時の趣旨、思いが継承されているか、情勢、環境は著しく変化しているが適応しているか、泉町の皆様の役に立っているかなど、これを機に改めて見直し、更なる発展に務めようとしています。

他は数年しか続かなかつた様でした。泉町でも継続が困難な時があつたやにお聞きしましたが、その当時関係された皆様方のご努力のおかげで100号発行の日を迎える事ができました。

先日第一号から九十九号迄を閲覧しましたが、夫々の号とも工夫されていて、内容豊富で特に二十年以上昔の紙面などは大変懐かしく拝見しました。

また、十年程前迄は広告欄もあり編集委員の皆様のご苦労が忍ばれます。二十五年前にこの広報紙を創刊された方々とそれを途切らす事無く発行し続けて下さった歴代編集委員の皆様方に厚く御礼申し上げますと共に泉町各位の一層のご支援をお願い致します。

## 「泉の自治だより」100号に寄せて

土岐市長 加藤 靖也



「泉の自治だより」の百号を心からお祝い申し上げます。

昭和六十二年の第一号発行から二十四年にわたって、今日まで発行を続けてこられました歴代の泉町連合区役員並びに編集委員の皆様方に、心から敬意を表します。

この「泉の自治だより」は、私も泉町民ですので読んでいますが、このたびの百号の発行により、発行当初の自治だよりを改めて読み返し、当時に懐かしく振り返りました。そして感じましたことは、今も昔も変わらぬ泉町の皆様のまちづくりへの思いです。

いかに住みよい町にしていくか。道路や公園などインフラの整備、土岐市駅周辺の整備などのハード面のこと、自治組織のあり方、地域住民の結びつき、自主防災への取り組み、青少年育成などのソフト面のことなど、泉町の向上を心から望み、真摯に取り組んでおられる姿が、自治だよりを通して伝わってきます。加えて、町民の皆様方からの投稿があり、泉町の様々な団体が行つてみえる活動や、子どもたちの様子を伺い知ることが出来ます。こうした記事を読んで、町民の皆様が泉町の現在の姿や将来について考えると、よい機会となつていくと思えます。

また、興味深く思いましたのは、発行当初に掲載されておりました「泉の歴史シリーズ」です。「次世代にもつと泉町の歴史を伝えていかなくてはいいけない」とのご意見を、市長と語る会でもいただきました。郷土の歴史を学び、郷土を愛する心を育てることは、土岐市発展のために重要であると思えますし、このように自治だよりに掲載されているのを読みまして、改めて泉の自治だよりを載せておられると思えました。

この二十四年の間に、泉町も随分と変わりました。新しい団地ができ、それと共に新しい町内もできました。新しい住民の方も増えましたし、一方では他地区と同様に少子高齢化が進み、高齢者の一人世帯が増えつております。時代の移り変わりと共に薄れてきた地域の絆を深め、お互いに助け合つていかなければなりません。これからは、今更以上自治会の果たす役割が重要になるものと思えます。

自治会の皆様方が中心となつて行われております、様々な行事を通じ、地域の絆を一層強めると共に、時代が変わり住む人が変わっても、いつまでもこの自治だよりが、泉町発展の原動力となりますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

「泉の自治だより」が100号を発行するまでに継続できたことは創刊時の編集委員6名が15年間の長期にわたつて活動を続け連合区会の組織として強固な基盤ができたことによりです。

現編集委員はいろいろな話を聞いて勉強しよう、創刊時の編集委員、歴代編集長の方々にも集まつて頂いて懇談会を開催しました。

創刊時の編集委員二人の参加を頂き、創刊に至つた話を伺いました。土岐商文芸部であつた仲間が、まとまりのない地域と言われていた泉町への適格な情報提供、一番人口の多い泉町であるのに、他町中心と思える市政への問題提起など、よい泉町の町づくりを目的として広報誌を発行することを提案した。当時の連合会長、役員の方々の尽力によつて創刊

が決定した。歴代編集長からはそれぞれの年度のテーマについての話があつた。我々編集委員は何つた話を参考に今後活動に反映し、また、伝えていこうと思つていまして、尚、連合会長より、創刊時の編集委員、立上げ発起人の方、計5人の方に感謝状をお渡ししました。

## 創刊時編集委員及び歴代編集長懇談会



創刊時編集委員 金津 保 様



御高齢ながら出席頂いた 田中 鈴夫 様

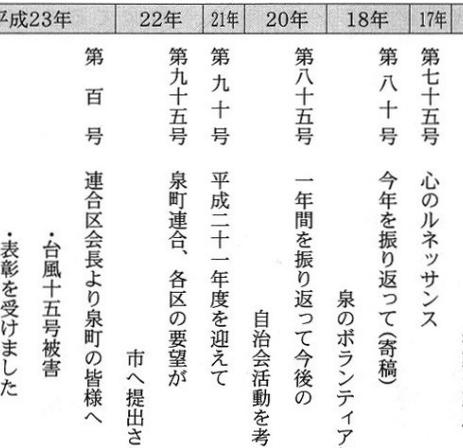
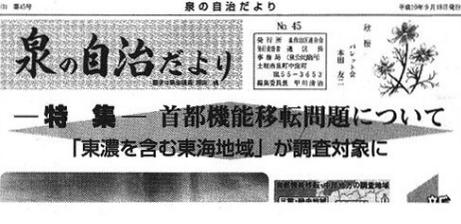


- 立上げ発起人 : 土本公平、須田信之
- 創刊時編集委員 : 甲川清治、田中鈴夫、尾島秀夫、金津 保、白石孝二、水野孝太郎
- 歴代編集長 : 今井敏美、加藤雅弘、加藤正香、垣見紘一、深谷 真、鈴木孝之 (敬称略)
- 今年度編集委員 : 小林章二、安藤孝雄、稲垣喜治、荒田勝己、半谷 任

# 記事に見る泉町自治の足跡



6年	5年	4年	平成3年		平成2年		平成元年		昭和63年		昭和62年												
第三十号	第二十五号	第二十号	第十九号	第十八号	第十七号	第十六号	第十五号	第十四号	第十三号	第十二号	第十号	第九号	第八号	第七号	第六号	第五号	第四号	第三号	第二号	創刊号			
団体についての理解を深めよう	こんなにもある継続課題	高齢化社会に思う (寄稿)	泉町の市会議員七名選出さる	泉町の市会議員七名選出さる	21世紀の泉町の街づくり	高齡化社会に思う (寄稿)	こんなにもある継続課題	団体の理解を深めよう	泉町の市会議員七名選出さる	21世紀の泉町の街づくり	高齡化社会に思う (寄稿)	こんなにもある継続課題	団体の理解を深めよう	泉町の市会議員七名選出さる	21世紀の泉町の街づくり	高齡化社会に思う (寄稿)	こんなにもある継続課題	団体の理解を深めよう	泉町の市会議員七名選出さる	21世紀の泉町の街づくり	高齡化社会に思う (寄稿)	こんなにもある継続課題	団体の理解を深めよう



平成23年	22年	21年	20年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	11年	10年	9年	8年
第百号	第九十五号	第九十号	第八十五号	第八十号	第七十五号	第七十号	第六十五号	第六十号	第五十五号	第五十号	第四十五号	第四十号	第三十五号
連合区会長より泉町の皆様へ ・台風十五号被害 ・表彰を受けました ・新公民館について	泉町連合、各区の要望が 市へ提出された	平成二十一年度を迎えて 自治会活動を考える	一年間を振り返って今後の 自治会活動を考える	今年を振り返って(寄稿) 泉のボランティア紹介	心のルネッサンス	平成十六年度泉町連合区 活動の重点	問題の先送りはごめんです	平成十四年度を迎えて 合併問題を考える	良い街づくりを目指して 自治会活動一年の歩み	平成十一年度連合区要望事項と 市当局の対応について	自治会女性部への道	愛するわが街のために	良い街づくりをめざした一年

## 泉町の人口世帯数の推移

